

就職活動のタイミングや方法を知っておきましょう

海外の大学生の就職活動

日本と海外での就職活動の違い

多くの国では、就職活動は卒業後に行います。しかし日本では大学在学中に就職活動を行い、卒業後の4月に一斉に新卒として社会人生活を開始することが一般的であるため、不安に思う人もいるかもしれません。

海外の大学で学ぶ日本人学生は、どのように行動したら良いのでしょうか。

海外からできる就職活動・キャリアフォーラム

日本に4月入社企業が多くの事実ですが、その一方で、社会やビジネスのグローバル化が急速に進んでいることから、実践的な知識やスキルを身に付けた留学生を求める企業も増加しています。そのため近年では様々な企業で、通年採用が取り入れられています。以前より就職機会は増加していると言って良いでしょう。

海外から可能な就職活動として、多くの学生が参加しているのが、企業が主催する「キャリアフォーラム」です。これは外国語を仕事に活用できる日本人向け就職イベントで、海外留学生を積極的に採用したい企業が参加し、説明会や選考面接を実施するものです。コロナ禍から回復した現在、会場での開催がほとんどですが、オンラインイベントとして開催される場合もあります。

最大規模のものとしては、秋にアメリカ・ボストンで3日間開かれる「ボストン キャリアフォーラム」があります。2023年は172社の企業がブースを設け、アメリカ内外の多くの留学生が参加しました。2022年度の実施後のアンケートでは、キャリアフォーラム開催中に「内定が出た」45.2%、「選考中」が28.5%と回答しており、短い期間に具体的な結果を得やすいのが大きな特徴です。また海外在住であることを考慮し、その後の連絡方法等にも柔軟に対応してくれることが多いようです。

【主なキャリアフォーラムの日程】

名称	開催月
ロサンゼルス キャリアフォーラム	3月
ロンドン キャリアフォーラム	4月
東京 サマー キャリアフォーラム	6月
ボストン キャリアフォーラム	11月
東京 ウィンター キャリアフォーラム	12月

※年度により異なる場合があります。参加前に、必ず開催日程や参加条件等を確認して下さい。

キャリアフォーラム参加時の注意点

当日は混雑するため、事前に参加企業を調べ、セミナーや企業ブース訪問の予約をしておくのと効率的です。面接を受ける場合には、ふさわしい服装で臨みましょう。

海外で働く体験をする・海外就職を目指す

海外就職を目指したい場合、在学中や卒業後のインターンシップで実践力を身に付け、人脈を作って就職につなげる方法があります。

また、多くの国では、海外の大学を卒業後の一定期間、専攻分野に関連する仕事に就くのであれば滞在が許可される制度があります。学んだことが実社会でどう生かされているかを理解し、かつ、海外で働く体験を積むことができる貴重な機会です。

自分のキャリアに「海外で働くこと」を考えているなら、その国や企業において働くための条件を確認しておきましょう。勤務先は自分で探すのが原則です。

【アメリカ、カナダの大学卒業後に働ける制度例】

国	名称	期間	対象となる人・必要な条件
アメリカ	オプション プラクティカル トレーニング	最長1年	有効な学生ビザ（F-1ビザ）を持ち、学位課程あるいは対象となるサティフィケート課程を修了する人が申請できる。 STEM分野※専攻者は、期間を延長できる場合がある。
カナダ	ポストグラデュエート 就労ビザ	卒業後8ヵ月～最長3年	政府認定の大学やカレッジを卒業した人が対象。 8ヵ月～2年までのコース修了者はコース期間と同期間、2年以上のコース修了者は3年までの滞在が許可される。ただし過去に申請・取得した人は対象外。

* STEM : Science, Technology, Engineering, Mathematics の分野をまとめて表す言葉

制度は国により変更される場合があるので、直近の情報を必ず確認して下さい。

英語圏では、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、アイルランド等も大学卒業後に一定期間、専攻分野に関連する仕事に就くのであれば滞在が許可される制度があります。

近年アジアで注目されている台湾では、卒業後半年間の就職活動期間が認められています。もし就職が決まらなければ再度半年延長ができます。ただし、その期間アルバイトをすることができないので、生活費に余裕をもって活動する必要があります。